

ヒツジ線維芽細胞順化培養液 アサイヤシ発酵エキスタイプ

開発経緯

ヒツジ皮膚由来の線維芽細胞は培養することにより、コラーゲン、エラスチンや成長因子を産生します。この線維芽細胞は毛根細胞などの実質細胞を支持し、線維芽細胞の成長に必要な成長因子を分泌します。そこで、このヒツジ線維芽細胞の順化培養液を開発しました。特に、線維芽細胞に良く働き、コラーゲンなどを増加させることからたるみ対策作用が期待されます。なお、この細胞順化培養液には血清、抗生物質、防腐剤を含有していません。

化粧品用途

表示名称 ヒツジ線維芽細胞順化培養液、ベニコウジ菌／(アサイヤシ果実／コメヌカ)発酵液 (配合比率 95:5)

INCI名 Sheep Fibroblast Conditioned Media、Monascus/Euterpe Oleracea Fruit/Rice Bran Ferment Filtrate

原材料 : ヒツジ由来線維芽細胞を培養した順化培養液、(培地としてアサイヤシ発酵エキスを利用)

保管方法 : 冷暗所に保管する。

注意事項 開封後は落下菌の混入を避け、冷暗所に密閉して保管し、お早めにご使用ください。

未開封時賞味期限 : 2年間

その他 : 防腐剤、添加物、BGなどの有機溶媒は使用していません。
(水を添加していません。100%順化培養液です。)

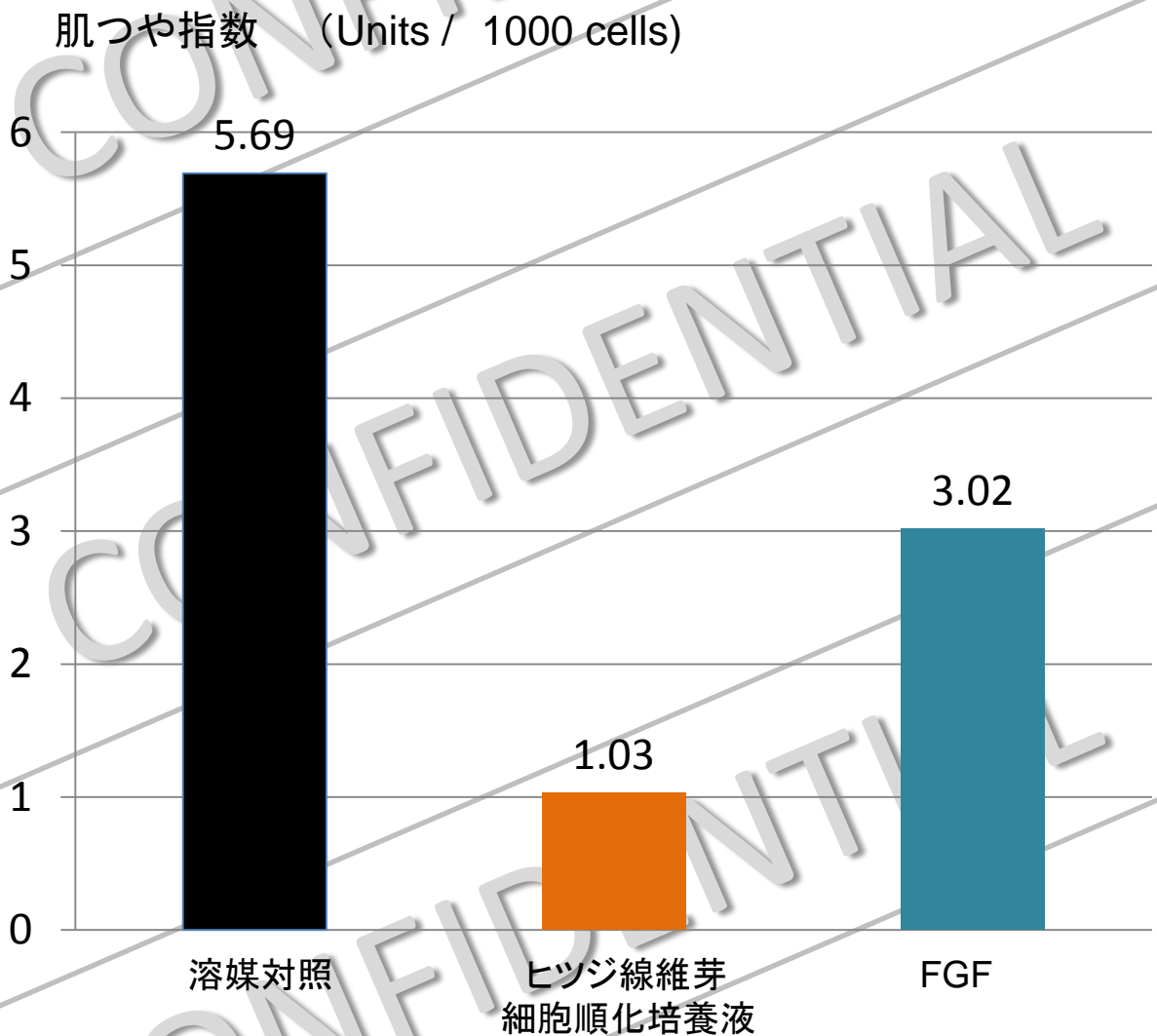
日本製造

特許第6010073号適用

ヒツジ線維芽細胞順化培養液 アサイヤシ発酵エキスタイプ

－ ヒト皮膚線維芽細胞 / 肌つや対策 －

ヒト皮膚線維芽細胞

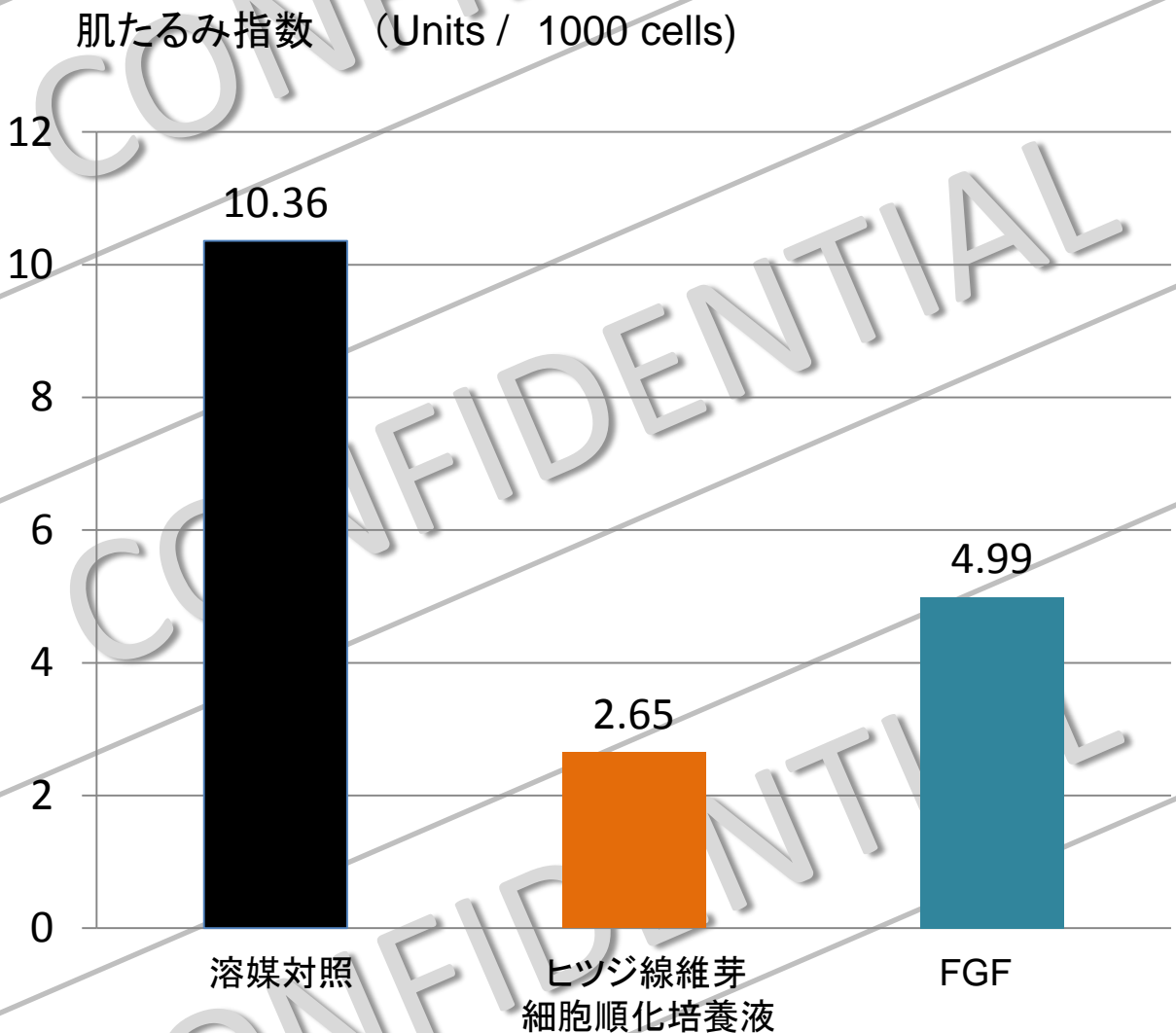


ヒツジ線維芽細胞順化培養液は紫外線照射したヒト皮膚線維芽細胞の肌つや指数を減少させました。肌つやに対する作用が期待されます。

ヒツジ線維芽細胞順化培養液 アサイヤシ発酵エキスタイプ

－ ヒト皮膚線維芽細胞 ／ 肌たるみ対策 －

ヒト皮膚線維芽細胞

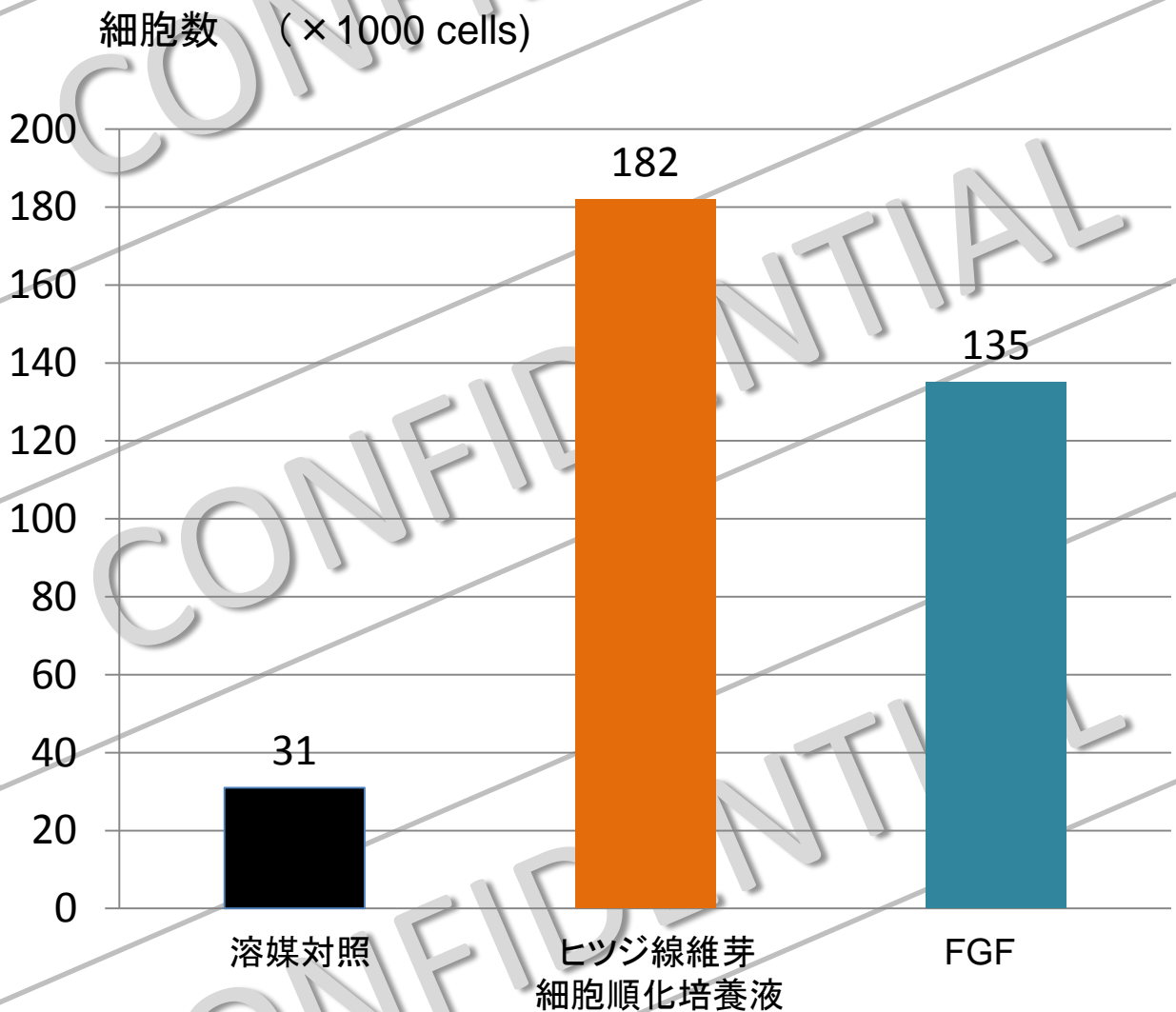


ヒツジ線維芽細胞順化培養液は紫外線照射したヒト皮膚線維芽細胞の肌たるみ指数を減少させました。肌たるみに対する作用が期待されます。

ヒツジ線維芽細胞順化培養液 アサイヤシ発酵エキスタイプ

— ヒト皮膚線維芽細胞 / 増殖作用 —

ヒト皮膚線維芽細胞



ヒツジ線維芽細胞順化培養液は紫外線照射したヒト皮膚線維芽細胞を増殖させました。その働きはFGFよりも優れていました。

製品規格書

製品名 : ヒツジ線維芽細胞順化培養液 アサイヤシ発酵エキスタイプ 液体

検査項目 :

1. 外観

検査項目	規格	測定方法
色	無色透明～薄黄色	目視
状態	液体	目視

2. 重金属・微生物

検査項目	規格	測定方法
砒素	2ppm 以下	原子吸光光度法
重金属	20ppm 以下	硫化ナトリウム比色法
一般細菌数 (生菌数)	100 以下 / g	標準寒天平板培養法
真菌数	陰性 (30 以下) / 100g	デキストリン培地培養法
大腸菌群数	陰性 (30 以下) / 100g	MPN 算出法

化粧品用途

表示名称 ヒツジ線維芽細胞順化培養液、ベニコウジ菌 / (アサイヤシ果実 / コメヌカ) 発酵液
(配合比率 95:5)

INCI 名 Sheep Fibroblast Conditioned Media、Monascus/Euterpe Oleracea Fruit/Rice Bran Ferment Filtrate

原材料 : ヒツジ由来線維芽細胞を培養した順化培養液、(培地としてアサイヤシ発酵エキスを利用)

保管方法 : 冷暗所に保管する。

注意事項 開封後は落下菌の混入を避け、冷暗所に密閉して保管し、お早めにご使用ください。

未開封時賞味期限 : 2年間

その他 : 防腐剤、添加物、BGなどの有機溶媒は使用していません。
(水は添加していません。100%順化培養液です。)

日本製造

製造元 : 株式会社 安理ジャパン

安全データシート (SDS)

作成日 2020年10月14日

< 1. 製造者情報 >

製品名 : ヒツジ線維芽細胞順化培養液 アサイヤシ発酵エキスタイプ 液体
製造元 : 株式会社 安理ジャパン
製造法概略 : ヒツジ由来線維芽細胞をアサイヤシ発酵エキスにて培養して得られる順化培養液を滅菌したもの。

< 2. 物質の特定 >

単一製品・混合物の区別 : 順化培養液
化学名 (一般名) : 特定できない
CAS RN : 特定できない
化審法番号 : なし
安衛法番号 : なし
国連番号 (番号 クラス) : 該当せず
EINECS : なし
TSCA : なし

< 3. 危険有害性の分類 >

分類の名称 : 分類基準に該当しない
危険性 : 可能性がある。 熱、火花及び火災で着火することがある。
有害性 : 眼、呼吸器及び皮膚を刺激するおそれがある。
環境影響 : 記載すべき情報はない。

< 4. 応急措置 >

目に入った場合 : 直ちにまぶたを開いて、流水で15分間以上洗浄する。症状が出た場合等、必要に応じて医師の相談を受ける。
皮膚に付着した場合 : 症状が出た場合等、必要に応じて医師の相談を受ける。
吸入した場合 : 症状が出た場合等、必要に応じて医師の相談を受ける。
飲み込んだ場合 : 多量に飲み込んだ場合、下痢を起こす場合がある。症状が出た場合等、必要に応じて医師の相談を受ける。



特許証

(CERTIFICATE OF PATENT)

特許第6010073号

(PATENT NUMBER)

発明の名称
(TITLE OF THE INVENTION)

水素ガスを発生し、ケラチン産生作用を呈する
レスベラトロール誘導体及びその製造方法

特許権者
(PATENTEE)

愛知県一宮市八幡四丁目1-67-606

二村 芳弘

発明者
(INVENTOR)

二村 芳弘

出願番号
(APPLICATION NUMBER)

特願2014-157442

出願日
(FILING DATE)

平成26年 8月 1日(August 1, 2014)

登録日
(REGISTRATION DATE)

平成28年 9月23日(September 23, 2016)

この発明は、特許するものと確定し、特許原簿に登録されたことを証する。
(THIS IS TO CERTIFY THAT THE PATENT IS REGISTERED ON THE REGISTER OF THE JAPAN PATENT OFFICE.)

平成28年 9月23日(September 23, 2016)

特許庁長官
(COMMISSIONER, JAPAN PATENT OFFICE)

小宮義則

